

「高齢者向け サイバー犯罪に遭わないために！」

～ 安心安全なスマホの使い方のセミナーとトークイベントを開催 ～

令和4年1月22日（土）、北陸情報通信協議会 ICT安心安全部会は、（一社）テレコムサービス協会（テレサ協）北陸支部等と連携し、高齢者向けに、サイバー犯罪の防ぎ方を学び、スマートフォンの利用促進と課題を一緒に考えるイベントを開催しました。

会場は「金沢市ものづくり会館」、中能登町「みおやの里」、珠洲「あさがおサロン」、「珠洲市民図書館」に分散しオンラインで結んだほか、音声web配信システム「PlatCast」を併用して、会場に来られない方はスマートフォンでラジオのように聴講しました。

イベントは、まず、石川県警察本部 生活安全部 生活安全捜査課 サイバー犯罪対策補佐 中永 隆庸 警部が、最近のスマホの利用状況、サイバー犯罪の現状や、フィッシング詐欺、サポート詐欺などの事例を紹介し、パソコンやスマートフォンは正しく使って安全な状態にしておくよう、また、慌てず落ち着いて周りの人や警察に相談するなどして被害に遭わないようにしてほしいと講演しました。

続くトークセッションは、テレサ協 細野 昭雄 北陸支部会長、中永講師を交え、世代別の利用状況やお気に入りのアプリ、使い方がわからないときの解決方法、トラブル時の対処などを話し合いました。

スマホの使い方では、高校生は友達との間で情報交換する、中能登町の高齢者は複雑な操作を孫やデジタル支援員の教室で教わっていること、マイナンバーへの意見では、飯田高校の「ゆめかなプロジェクト」でカード普及を行いたいなどの声があり、スマホを安全に使って人と人とのコミュニケーションを進めようと提案されました。

午前10時から2時間のイベントに、会場は総勢25名が参加し、なごやかに終了しました。



（金沢会場の様子）



（中永講師（左）、細野会長（右））



（音声web配信システム「PlatCast」）



（各会場の様子）